

事務事業名	外国青年招致事業(国際交流員)	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課	
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	公共交通・国際交流グループ	課長名	加津山幸登
	施策名	(24)生涯学習の推進	担当者名	野々村一彦	電話番号	0854-40-1014
	目的	対 象 市民 意 図 生涯を通じて、人生を豊かにするために学ぶ。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	(内線)	3520
	目的	対 象 市民 意 図 学習の機会を確保する。	0 1 1 0 0 8	国際交流事業		
	基本事業名	(071)学習機会の提供	0 5 3 5 0 2	中事業 中事業名	外国青年招致事業(国際交流員)	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 自治体国際化協会(取りまとめ団体:県)のJETプログラムにより外国青年を招致し、雲南市国際交流員として契約し、様々な国際交流事業を実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 学校訪問・英会話・韓国語教室・国際交流イベントの企画運営・国際交流団体事業への協力・海外他都市との連絡支援・在住外国人支援に係る活動支援・通訳・翻訳	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 英語圏1名・韓国1名の体制を継続し、24年度と同様の活動を継続する			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 国際交流員の人数	人	2	2	2	2
	イ イベントの開催回数	回	4	8	10	10
	ウ 派遣依頼の回数	回	30	19	25	30
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	市民全般	ア 人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
国際感覚豊かな市民の育成を図る	ア 市の国際交流事業に参加した市民数	人	3,673	3,615	3,372	3,400	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
報酬(7,180千円)、旅費(424千円)、役務費(48千円)、賃借料(654千円)、負担金(33千円)	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	459	446	350	244
		一般財源	千円	8,518	8,429	7,989	8,436
		事業費計(A)	千円	8,977	8,875	8,339	8,680
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	701	674	631		
	人件費計(B)	千円	2,725	2,657	2,472		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,702	11,532	10,811		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南市発足時は3名体制であったが、事業の整理見直しにより1名減員し、平成19年8月から英語圏国際交流員2名体制となった。さらに、平成20年4月から新規に韓国青年を招致するとともに、同年7月には英語圏を1名減員、それ以降は英語圏1名と韓国1名による国際交流員2名体制となった。	①に同じ	事業に参加いただく市民の方からは、概ね好評をいただいております。「英語圏と韓国の国際交流員により、幅広い国際交流の機会ができて嬉しい」との意見があった。また、今まで国際交流や海外へ興味がなかった人が「今後も機会があれば積極的に参加していきたい」という感想を述べる場面が多数あった。

事務事業名	外国青年招致事業(国際交流員)	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 あるべき水準には達していると思うが、より効果的に国際交流事業を推進していくため、国際交流員の活用方法・業務内容等常によりよい方法を模索していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 語学能力が必要な業務が多々あるため、国際交流員がいなくなることでの影響は大きい。また学校訪問や語学講座など、市民に定着している事業も多々あり、廃止・休止は影響が大きい
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 類似事業はない。現状では他の方法は考えられない
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 英語圏1名と韓国1名の国際交流員2名体制により、幅広い異文化交流の提供を実現している。本事業費は国際交流員配置に係る経費であるため、事業費を削減することは国際交流員を減員することであり、そうすれば成果は確実に下がることになる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 職員2名は最小限度の人員であり、イベント等の際には民間ボランティアの方に手伝っていただくこともある。これ以上の削減余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 事業の対象者は広く市民一般であり、市報やケーブルテレビを使い広く広報している。また、語学講座については、以前は無料で行っていたが、受益者が限られるため会場使用料、テキスト代等について22年度より受益者負担としている
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国際交流員の配置により、様々な国際交流機会を提供し、また海外都市との交流もよりスムーズに行えるようになった。今後も、より国際交流の裾野を広げ、関心の高い市民の皆さんと連携を深め、国際交流を人づくり、地域づくりのために活かしていけるように引き続き努めたい
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>今後も国際交流員2名体制を維持し、様々な国際交流事業を推進していく。その上で、国際交流員の活用についてより多くの市民の方との交流機会を設けるよう努力し、様々な活用方法を検討する。</p>																								